

くまの 議会だより



新型コロナ
休校中でも元気に

熊野第一児童クラブ
(関連記事 P15)

令和2年
3月定例会

主な内容

筆の都くまの

熊野町観光大使
ふでりん



- 令和2年度予算
- ズバリ町政を問う！
- ありゃあどうなったんかいの？

第114号
2020.5.1

熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧ください

発行 ● 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <http://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail:gikai@town.kumano.hiroshima.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

災害からの復旧

令和2年度一般

予算の主要事業を『目的ごと』

目的	誕生の世代 《出産・幼児期》	学びの世代 《就学期》
災害対策		防災・減災まちづくり会議運営等事業
		防災行政無線デジタル化実施事業
		東部地域防災センター（仮称）建設事業
		防災空地整備事業
		農地及び農業用施設災害復旧事業
地域の活性化		筆の里工房事業
		筆の里工房周辺整備事業
子育て・教育	保育所等運営一般事務事業・ 保育所等運営事業 8億2,129万円	
	くまの・こども夢プラザ管理 運営事業 1,528万円 母子保健事業 2,568万円	
	感染症対策事業 6,903万円	
		放課後児童健全育成事業 4,833万円
		小・中学校大規模改造事業 トイレ改修工事 (別途繰越予算4億600万円あり)
健康		小・中学校大規模改造事業 校内通信ネットワーク整備工事 (別途繰越予算1億5,120万円あり)
交通		

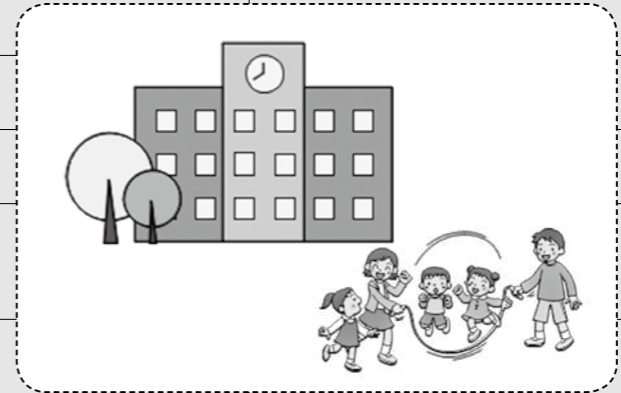
・復興を優先！

会計予算案を可決 （総額 93億5,608万円 昨年度より4%（3億9,146万円）の縮小！）

『世代別』にまとめました。

（数値については表記単位未満を四捨五入しています）

働き盛り世代 《青年・壮年期》	シルバー世代 《熟年期》	事業の概要
597万円		防災・減災に関わる町民の役割を明確にし、継続的に推進。
2億2,360万円		非常時における多様な情報収集・伝達手段を確保。
2,823万円（別途繰越予算 5億9,500万円あり）		第二小学校体育館、東公民館に代わる防災拠点施設を整備。
3,500万円（別途繰越予算 4,000万円あり）		大原ハイツに追悼の場・伝承の場を整備。
2,879万円（別途繰越予算 3,550万円あり）		農地、農業用施設を復旧。
1億3,182万円		筆の里工房の円滑な運営。
8,932万円（別途繰越予算 595万円あり）		体験交流を中心とする「観光交流拠点」として公園を整備。
子育て世代「住むならくまの」 応援事業 1,500万円		若年層の定住を促進。 住宅の購入への助成金。
		認可保育所と認定こども園（各3施設）の教育・保育の充実。 延長保育等のニーズに対応。
		「くまの版ネウボラ」保健師の配置と関係事業を実施。 各種検診や育児相談を実施。
		定期予防接種を実施。
		共働き家庭等の児童の健全育成。
		安心して学校生活を送るための快適な環境整備に向け洋式トイレに改修。
		「GIGAスクール構想」の実現に向けた高速大容量通信ネットワークの整備
		生活習慣病予防対策事業 4,174万円
		健康づくり・介護予防ポイント事業 168万円
		交通輸送対策事業 3,319万円
		住民健診や健康教育、健康相談等を実施。
		ボランティア活動等へポイントを付与、奨励金を還元。
		生活福祉交通「おでかけ号」運行。公共バス路線の運行を確保。



当初予算
予算審議
議会審議
一般質問
議会・委員会活動
あじやあじやになったんかいの?

当初予算
予算審議
議会審議
一般質問
議会・委員会活動
あじやあじやになったんかいの?



予算審議は のべ292事業 約530分

3月11日から13日の3日間、議員全員で構成する予算特別委員会を開催し、令和2年度予算の審議を行いました。

主な質疑等

〔歳入〕

町税

各税の増減理由は、

〔税務課長〕

個人町民税は個人所得が回復し、0.8%増。法人町民税は税率引き下げにより、15%減。固定資産税は新築家屋の増などにより、1.3%増。軽自動車税は新規登録車の増により、7.7%増。たばこ税は加熱式煙草の売り上げ本数増により、5.8%増。

固定資産税

家屋の課税調査等は適切に行っているか。

〔歳出〕

コミュニティセンター等の修繕

今年度どこに交付するのか。

〔地域振興課長〕

出来庭老人集会所のエアコンの修繕、神田老人集会所のフロアリングの修繕に助成予定。

防災・減災

今年度購入する備蓄物資は、液体ミルクは購入するのか。

〔危機管理課長〕

サバイバルパン、クッキー、保存水、離乳食、粉ミルクを



▲ 備蓄されている物資

購入。液体ミルクは今後検討する。

豪雨災害被災誌の作製

被災誌の概要は。映像の活用はあるか。

〔危機管理課長〕

80〜100ページのフルカラー印刷で300部作製する。映像については、今後検討する。

母子健康手帳アプリ

アプリの内容は。

〔子育て・健康推進課長〕

妊娠期の記録、乳幼児健診、子供の成長記録、予防接種の日程などメールで情報提供する。

避難路の整備

昨年度と今年度、避難所まで狭路で十分なアクセスがない袋小路団地5か所を整備するとのことだが、今後の計画は。

〔建設部技術次長〕

地元の意見・要望を踏まえ、道路改良事業と併せて進める。

定住対策

子育て世代「住むならくまの」応援成金の実績は。

〔建設部技術次長〕

平成30年度73世帯、令和元年度（2月末現在）64世帯。

小学校低学年の書道科指導

現行の年15時間を拡大できないか。

〔教育指導課長〕

教育課程外の町独自授業として年15時間確保しており、こ

敬祝祝金の支給方法と支給人数の推移

は。

〔高齢者支援課長〕

80歳は5千円を口座振替で支給。100歳は5万円を町長が直接敬老者宅を訪問し支給する。支給対象の高齢者は今後減少していく見込み。

防犯灯の設置補助

前年度よりも減額されている理由は。

〔生活環境課長〕

過去の実績により予算計上した。

健康づくり・介護予防ポイント事業

事業に参加し奨励金を獲得した人数は。

〔高齢者支援課長〕

令和元年は、5千円40人、4千円5人、3千円7人、2千円17人、千円28人の合計97人。

感染症対策

今年10月開始されるロタワクチンの接種対象者数は。

〔子育て・健康推進課長〕

本年8月1日〜来年3月31日の出生見込数100人の8割を予算計上している。

シルバーリハビリ

シルバーリハビリ体操指導士の数と活動状況は。

〔高齢者支援課長〕

2級、3級指導士を合わせて活動は60人弱。シルバーリハビリ体操指導士会主催の体操教室を3か所実施するほか、社会福祉協議会と連携し地域で実施している。

介護サービス給付費

給付費は介護保険事業計画値の何%を予算計上しているか。

以上の拡大は困難である。

小学校の対外活動費

学校間で大きな差がある理由は。

〔教育部次長〕

4校合同で実施する活動事業に対する補助金を、持回りで事務局を担当する学校に約100万円を交付するためである。

小中学校の光熱水費

平成30年度全小中学校に整備したエアコン設置による光熱水費はいくら計上しているか。

〔教育部次長〕

約330万円。

新型コロナウイルス対策

一斉臨時休校を受けて、小中学生と保護者への対応は。

〔教育部長〕

保護者には、情報メールで自宅待機を

〔高齢者支援課長〕

値の約8割を計上した。介護度の低い支援者が増加したためである。

休日当番医制度

令和2年度から坂町の医療機関との共同体制で休日診療を行うと聞いたが。

〔子育て・健康推進課長〕

安芸地区医師会からの提案で、医師の高齢化と共に、管内の医療機関が減少していることなどを理由に坂町と共同で行うこととなった。



女子サッカーを育てる会

補助金の活動内容は。

〔生涯学習課長〕

アンジュヴィオレ観戦ツアー、幼稚園児・保育園児とアンジュヴィオレ選手との交流活動など。

郷土館の修繕費

予算10万円は少な過ぎないか。

〔生涯学習課長〕

臨時的に発生する軽微な修繕に対する予算を計上している。



▲ 郷土館

CHECK 令和2年度予算審議

障害福祉サービス

サービスを受けられない状況はないか。また、町内に新規参入する事業者はあるか。

〔民生部次長〕

児童発達支援、放課後等児童デイはここ2年急激な利用者の伸びがみられるが、サービスを受けられない状況はない。また今年、生活介護事業所が1件町内で開設予定である。

東部地域防災センター（仮称）建設

事業費が大きすぎないか。

〔危機管理課長〕

東部地域の防災拠点として国の有利な補助金を活用し、適正な規模の施設である。平時は公民館として地域コミュニティ機能を持つ施設となる。

鳥獣被害対策

有害鳥獣対策協議会補助金の内容は。

〔都市整備課長〕

ドッグナビ2個、無線機4台、箱ワナ3基、くくりワナ30組を購入・貸与し鳥獣被害防止を強化する。



▲ ワナで捕獲したイノシシ

木造住宅の耐震診断補助

これまでの交付実績は。

〔危機管理課長〕

昭和56年以前の建築物が対象で、これまでの実績はない。

将来を厳ぐチェック!

3月定例会(3月10日開会) 町から諮問3件・議案34件、議会から発議1件

(数値については表記単位未満を四捨五入しています)

人権擁護委員の候補者を決定

熊野町の人権擁護委員6名のうち3名の任期が令和2年6月30日をもって満了するため、再任及び新たな委員の候補者について、適任であると判断した。

- 梶山 孝之さん(再任推薦)
 - 木村 邦子さん(再任推薦)
 - 荒谷 直美さん(新たに推薦)
- 【任期】令和2年7月1日～令和5年6月30日

ピックアップ①

「熊野町防災・減災まちづくり条例」の制定を可決

未曾有の被害をもたらした平成30年豪雨災害の教訓を継承し、防災の意識を高めるための条例を可決。

◎条例の主な内容

- 平時から防災・減災の知識・技術を習得し、早めの避難につなげる「自助」
- 自主防災組織などが、地域で声を掛け合い助け合う「共助」
- 行政の災害対策を進める「公助」
- 個人、地域、行政が協力して災害に強いまちづくりを推進する「協働」。

ピックアップ②

「熊野町防災会議条例の一部を改正する条例」を可決

本町の地域防災計画や総合防災訓練の訓練計画等を審議する防災会議委員の定員を増員するとともに、その構成員を追加。

- 委員の定員 25名以内→30名以内
- 追加する構成員 陸上自衛隊、隊友会熊野支部、自主防災組織、熊野町社会福祉協議会、女性の防災学識経験者など

ピックアップ③

「熊野町社会体育施設等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」を可決

平成30年豪雨災害で避難所となった町民体育館で国から無償譲渡された空調機器(エアコン)を平時の夏学期間中(6月～9月)利用できるよう、利用料金を設定するもの。利用料金は、1時間当たり800円。

ピックアップ④

「コーポラス熊野設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例」を可決

コーポラス熊野住宅、熊野町営住宅への入居手続きに必要な2人の連帯保証人が不要となった。

ピックアップ⑤

令和元年度一般会計補正予算(第5号) 歳入・歳出とも5億3062万3千円の増額

総額108億81万3千円に

ピックアップ⑥

注目補正事業

- 東部地域防災センター(仮称)建設事業 5億3521万3千円 東部地域の新たな防災拠点施設の建築工事費など
- 防災空地整備事業(大原ハイツ内) 4千万円 大原ハイツ内に平成30年7月豪雨災害犠牲者の追悼及び伝承の場となる防災空地整備の実設計費、用地購入費
- 避難路整備事業(町道三村岡隠田線など) 2146万5千円 避難所まで安全に避難できる道路を整備するための工事請負費、公有財産購入費
- 小中学校大規模改造事業 5億5720万円 校舎内、体育館のトイレ改修(洋式化)及びGIGAスクール構想を踏まえた校内通信ネットワーク整備のための工事請負費など

主な質疑

ピックアップ②

Q. 条例の目的である「自助」「共助」「住民協働」を町民に対してどのように周知していくのか。

A. 町の広報、ホームページで掲載するほか、防災フェアのイベント等を通じて周知する。

Q. 町執行部が考える議会の役割とは。

A. 町災害対策本部と連携し、地域の被災情報提供や救援活動など、災害発生時の議会対応要領に沿った活動を期待する。

ピックアップ③

Q. 追加する委員のうち、女性の視点で防災・減災等の提言ができる者及びその他町長が必要と認める委員は、どのような人を考えているか。

A. 県の自主防災リーダーや防災アドバイザーなど、防災知識を有する女性を考えている。

ピックアップ④

Q. 町民体育館のエアコン利用料金は、熊野町外の住民が利用した場合も同一料金か。

A. 町内、町外とも同一料金の1時間当たり800円。

ピックアップ⑤

Q. 町営住宅の家賃を引き下げる考えはないか。

A. 公営住宅法で定められた方法で算出した家賃であるため、引き下げはできない。

ピックアップ⑥

Q. 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興に向けた関連予算の総額は。

A. 平成30年度決算額で、11億4606万円。そのうち町の一般財源は、2億8449万円。

Q. 町民グラウンドの復旧状況は。

A. グラウンド内に仮置きしていた災害土砂・廃棄物の搬出が予定より約2か月延びて、5月末完了予定である。



▲仮置きされていた災害土砂など

Q. 生活保護費が大幅に減額されている理由は。

A. 被保護世帯の減少と医療扶助費の減少による。

Q. 新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校を受け、放課後児童クラブの受け入れ態勢が大変だと聞か、支援員の確保は大丈夫か。

A. 勤務シフトを変更し対応している。



▲臨時休校中も遊具で遊ぶ児童クラブの子どもたち

かけがえのない我が熊野町の

気になる6件をピックアップ

町政を問う

あなたが、気になる「質問」はありますか？

質問議員 5名 質問 9項目

その他の町行政	安心・安全	健康・福祉	子育て支援・教育
			<p>P9 「GIGAスクール構想」とは 学校ICT環境の充実を 学校における働き方改革を</p> <p>沖田議員</p>
			<p>P10 生活習慣病予防及び介護予防の取り組みは</p> <p>水原議員</p>
			<p>P11 町内消防団に対する町の関与支援は</p> <p>福垣内議員</p>
			<p>P12 防災に対する取り組みは 災害大国日本。今後想定される複合災害に どう対応するか</p> <p>荒瀧議員</p>
			<p>P13 国勢調査に向けての準備状況は 一方的「約束」破りで強行採決</p> <p>荒瀧議員</p>
			<p>P14 ICTを適切に使いこなしていくために、ネットいじめやネット依存にならないよう情報モラル教育の充実や、有害情報対策などの取り組みをするべきでは。</p> <p>中島議員</p>

皆さんの「へいじ」にかかわることを、議員が質問をしました。

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただきます。
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
なお、熊野町議会のホームページ (<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

子育て支援 教育



中島 数宜 議員

Q 「GIGA スクール構想」とは

A 〈町長〉

ICT教育で、児童・生徒の力を最大限に引き出す。

〔Q1〕 国のロードマップは令和5年度までに児童・生徒一人ひとりが端末を持つとされているが、熊野町の計画は

〔A1〕 本町では国の示すロードマップを基本にしつつ、可能であれば令和4年度、1年前倒しで整備を進めていく。

〔Q2〕 端末の調達にあたって、保護者の負担は発生するか。

〔A2〕 公立学校情報機器整備費補助金を活用する考えであり、保護者に負担を求めることは今は考えていない。

〔Q3〕 整備する高速大容量通信ネットワークの具体的な通信速度は。

〔A3〕 国が示している通信速度は、10ギガバイトの通信ケーブル並びに、1ギガバイトのハブの仕様となっている。

〔Q4〕 ICT端末を適切に活用するために、教員のスキルアップ、支援者の配置が必要と思うが

〔A4〕 教員のスキルアップ研修はもとより、活用方法をフォローアップするICT支援員の配置を検討していく。

〔Q5〕 教職員が転勤先でも戸惑うことなく利用できる統一OSの検討は

〔A5〕 県内又は、近隣市町等で統一したOSを使うことが望ましいと考えている。

Q 学校ICT環境の充実を

A 〈教育長〉

令和4年度の達成をめどに、1人1台の端末整備を順次すすめていく。

〔Q1〕 教員がICT機器を効果的に活用できるための取り組みは

〔A1〕 学習者用のデジタル教科書の導入や、デジタル教材を活用した思考を深める学習など、先進事例を参考に、教員のスキルアップを目的とした研修の実施やICT支援員の配置などを検討していく。

〔Q2〕 端末整備については特別支援学級を優先していただきたいが

〔A2〕 令和2年度に小5、小6、中1の整備とあわせて特別支援学級にも整備していく。



沖田 ゆかり 議員



安心安全

Q 町内消防団に対する町の関与支援は



福垣内邦治 議員

A <町長>

防災、減災への取り組みには消防団は欠かせない存在だ、環境整備を進めていく。

技術の向上は消防団にとって必要不可欠と考える。消防学校での訓練内容の情報も収集し、実践に活用できる訓練方法を取り入れることを検討していく。

団員は時間に都合をつけ訓練に参加している。集団行動訓練などよりも他の訓練時間を確保してはどうか。

消防団役員会で協議していききたい。安全管理講習等も必要と考える。若い団員の意見も吸い上げていききたい。

新たな訓練内容、技術向上訓練を検討してはどうか。



▲ 消防積載車

現在の所有車両は適正か。2t車などの運転技術訓練も必要ではないか。

近年はオートマ限定免許所有者も増加している。消防積載車についてはAT車両、軽自動車も検討していく。消防学校で実施されている、車両訓練の導入を検討していく。

団員の勤務先等への理解は進んでいるか。

消防団協力事業所表示制度や活動の周知で理解を深めていく。

Q <沖田 ゆかり 議員>

学校における働き方改革を

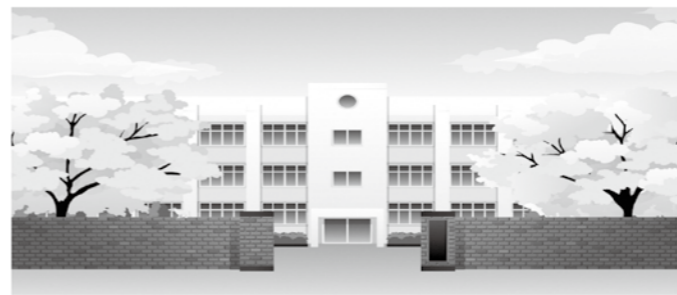
A <教育長>

教育委員会の規則において、教員の時間外勤務の上限について明記する。

教員を支援するツールとしてICTを効果的に活用することが、教材の研究、作成などの授業準備の効率化や書類作成や会議の効率化、効果的な実施を可能にする。平成25年に教員の事務負担の軽減のため、校務支援システムの導入について質問したが検討されたのか伺う。

令和3年度に現在の教職員が使用しているパソコン及び学校サーバーのリース契約が満了するため、更新時期を機に熊野町においても導入を検討していく。

学校や教員に対する支援の主体は教育委員会だけではなく、熊野町全体として考えるべきではないか。



令和2年度からは、熊野町学校運営協議会を設置し、地域の方に入っていたいただき、学校運営等の協議をいただきながら、地域理解、地域のご支援をいただく。

Q 生活習慣病予防及び介護予防の取り組みは

A <町長>

熊野町健康増進計画を策定し取り組んでいる。



水原 耕一 議員

特定健康診査が今年度から無料になった。受診率の推移と今後の周知方法は。

健康受診率は33%、34%で大きな伸びには至らなかった。今後、健診のしおりやポスターなどで、アプリルの工夫をしていく。

健診受診後、数値に問題がある方などのような保健指導を行なっているか。

支援方法は面接で生活習慣を振り返る。目標や行動計画を立て、6ヵ月後達成したか評価を行なっている。

支援方法としてスマホのアプリ導入を考えたみては。日々歩いた歩数や運動記録をアプリで管理する。運動量や消費カロリーを数字で把握する事で、楽しく運動出来るのでは。また、ランニングマシンなどをどこかの施設に置き、トレーニングスペースを作れないか。

熊野町健康増進計画を策定し取り組んでいる。

熊野町健康増進計画を策定し取り組んでいる。

熊野町健康増進計画を策定し取り組んでいる。



Q <福垣内 邦治 議員>

防犯に対する取り組みは

A <民生部長>

海田警察の意見も聞き、防犯カメラを県道や町道へ設置の検討をしていきたい。

町施設の防犯カメラは何台あるか。

町施設に12台、小中学校合わせて18台である。それらは屋外向けに28台、屋内向けが2台、計30台設置している。



▲ 役場庁舎の防犯カメラ

防犯カメラは、町が設置するののか。

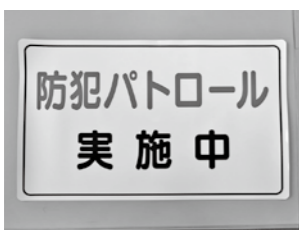
町が設置し管理運営する方法が適当であると考えている。

町所有車両のドライブレコーダーは。

現在町の公用車には1台も付いていない。青色防犯パトロール車から予算の範囲内で設置し、公用車の更新時などに順次設置していければと考えている。

以前は「防犯パトロール中」との黄色いステッカーを付けた車を多く見かけていた。現在は見かけなくなったが。

現在も申請いただければ配付している。周知方法の見直しを検討していく。



▲ 防犯パトロールのステッカー



荒瀧 穂積議員

Q 災害大国日本。今後想定される複合災害にどう対応するか

A 〈町長〉

再び人的災害を伴う災害を防ぐことが私に課せられた使命と考えている。

〔Q1〕 平成30年7月6日午後8時10分頃大原ハイツにて土石流が発生し、12名の町民が亡くなった。私どもは、まず反省をし、謝罪をし、ここから復興がはじまると思うがどうか。

〔A1〕 議員提案による「熊野町防災の日」を定める条例や、本定例会に提案した「熊野町防災・減災まちづくり条例案」に掲げる「自助」、「共助」、「公助」の理念のもと、人的被害が伴う災害が再びおきない強靱なまちづくりを推進することが、私に課せられた使命と考える。

〔Q2〕 広島市長や県知事の謝罪もないが、なにか行政的にルールでもあ

〔A2〕 そのようなルールはないと思っ

〔Q3〕 前日（7月5日）広島気象台は、7月5日～8日の大雨気象情報を発表している。本町避難指示は、発災の30分前。当時、町民の避難行動に混乱はなかったか。

〔A3〕 避難情報は段階的に出している。避難勧告の段階で避難していた



大原ハイツ 土石流の現場

〔Q1〕 突然、本会議場で多数化した議員が定数減発議を提出。議長の強引な進行のもと強行可決、成立。町長の関与は

〔A1〕 議会の定数については*二元代表制の観点から関与する立場にない。

〔Q2〕 発議の内容においては、少子高齢化や人口減、災害による町財政の悪化を懸念している町財政の現状はどうか。

〔A2〕 厳しい状況にはあるが、重点戦略や基本施策の推進と財政の健全化を両立させたい。

〔Q4〕 議会は定数減により800万円の抛出をしたが町長のほうは応分の削減をしないのか。

〔A3〕 議員定数の削減と町長ほか特別職の給与の額のあり方は、別に行うべき議論と考える。議員の定数減に伴う特別職の給与削減は、考えていない。



※首長と議会議員を住民が直接選挙で選ぶ制度。町長と議員は独立し互いに侵害できない。

その他の町行政

Q 〈中島 数宜 議員〉 国勢調査に向けての準備状況は

A 〈町長〉

確実に調査が実施できるよう調査員約100名で調査を進めていく。

〔Q1〕 前回、平成27年の実施状況と課題は。

〔A1〕 全体で12調査区、指導員15名、調査員98名で実施したが、調査員の確保が課題で、広報誌、ホームページでの募集だけでなく行政協力員に調査員候補者の推薦をいただいた。

〔Q2〕 前回のインターネットによる回答率はどうか。

〔A2〕 前回の回答率は41%であった。インターネットによる回答は調査員の負担軽減となるため、周知に努めている。

〔Q3〕 インターネット利用による回答を更に高める具体的な施策を考

ているか。

〔A3〕 回答率50%以上目指しており、広報誌やホームページでの啓発に加え、訪問時の丁寧な説明により回答につながるよう対応している。

〔Q4〕 調査員の報酬金は概ねどれくらいか。

〔A4〕 例えば、50世帯調査で3万4460円程度となる。

〔Q5〕 外国籍の住民の調査は勤務先の責任者が対応できるよう熊野町で協議できないか。

〔A5〕 勤務先への協力依頼など、実効性のある対応を行っている。

永年にわたる功績により受賞！

～自治功労者等表彰式 並びに 広島県町議会議員研修会～

2月21日にパルテ・ザ・スタイル・オブ・ウェディングにおいて、「令和元年度自治功労者等表彰式並びに広島県町議会議員研修会」が開催されました。

○自治功労者等表彰式

本議会からは、町議会議員として永年にわたり在職し、地方自治の振興と住民福祉の向上に貢献された大瀬戸宏樹議員が、議員在職14年以上として、広島県町議会議長会会長から表彰を受けられました。受賞おめでとうございます。



大瀬戸 宏樹 議員

○広島県町議会議員研修会

「地域文化とまちづくり」講師：劇作家・演出家 平田 オリザ 氏
劇作家としての視点で、文化・芸術を軸としたまちづくりの取り組みについて講演を受けました。

若者のUターン・Iターンを阻害する要因は、自分に合う仕事がないという『雇用』や、東京と同じだけの教育水準が確保できるのかという『教育』、興味のあるスポーツ・食文化がないという『文化』であるという内容でした。

地方への若者の移住・定住を阻害する要因をどう解決していくかが、地方創生において重要になるため、熊野町独自の筆文化や芸術の強みを再確認し、施策への反映に努めます。

主要事業の実施状況 (12月現在) を確認

産業建設委員会

1月27日に産業建設委員会を開催し、所管する本年度の主要事業の実施状況について、建設部及び水道部の各課から説明を受け、協議を行いました。

主な報告内容

○「筆の里工房周辺整備事業」

災害により業務が遅延していた平成30年度からの繰越分である基本設計及び測量設計業務は、令和元年度中の完了を予定している。さらに令和元年度は用地買収を完了しており、建物等の物件移転補償も契約を済ませ、3月末完了を予定している。



▲ 所管する事業が適正に計画どおり実施されているか確認しました。

○「熊野団地 汚水管渠更生工事」

下水道改築事業として、東山地区で汚水管渠布設替え工事を1件、石神地区で汚水管渠更生工事を1件の計2件の工事を発注しており、ともに3月末までに完了を予定している。

当委員会では、所管する事業が年度当初の計画どおり、適正かつ円滑な事業運営がされていることを確認し、今後も公平な事業を実施するよう要望しました。

安全・安心な環境の整備を確認

文教委員会

1月29日に文教委員会を開催し、教育部に小中学校ブロック塀改修工事、ICT機器整備事業などの「2学期の主要事業の実績」を確認しました。また、学校体育館照明改修工事、学校施設長寿命化計画策定業務、小中学校トイレ改修工事、小中学校校内通信ネットワーク整備工事、町民グラウンド改修工事などの「3学期の主要事業の計画」について説明を受けた後、質疑を行いました。



▲ 小中学校に整備予定の多目的トイレのイメージ

主な質疑

- Q. 学校体育館照明改修工事で、熊野第四小学校は、業者すべてが入札において最低制限価格を下回り不調となっているが、調査を行ったのか。
- A. 今回の入札結果を踏まえ業者から参考見積もりを徴取するなど、適正価格で設計をしていく。
- Q. 文部科学省の資料で学校グラウンドの排水設備の補助があったと思う。熊野第三小学校は水はけが悪いが、学校施設長寿命化計画において何か考えているか。
- A. 建物メインの計画となり、グラウンドは入っていない。建物優先で整理をしていきたい。
- Q. 小中学校校内通信ネットワーク整備で、職員室の情報漏洩の心配はないか。
- A. 文部科学省が示しているセキュリティレベルでの整備を考えている。

今後も事業の進捗状況や計画について説明を求め、子どもたちが、安全に安心して過ごすことができる環境整備となるよう協議・要望していきます。

追跡

ありやあ どうなつたんかいの?

No. 1

今号より、このシリーズを始めました。

町民の皆様が、気になることを採り上げて行きたいと思っています。ご期待ください。

第一弾は「筆の里工房周辺整備事業」です。

この事業は、第4次総合計画（平成13年～）、現在進行中の第5次総合計画（平成23年～）の中に組み込まれています。

具体的には、平成27年3月議会において、町長が施政方針で「筆文化を生かした観光推進事業」として説明したのが始まりです。

その後、年度が推移する中で、観光交流拠点施設としての整備が具体化してきました。

令和元年度には、用地の測量・調査、用地買収（3万3,100㎡）、基本設計を終えています。

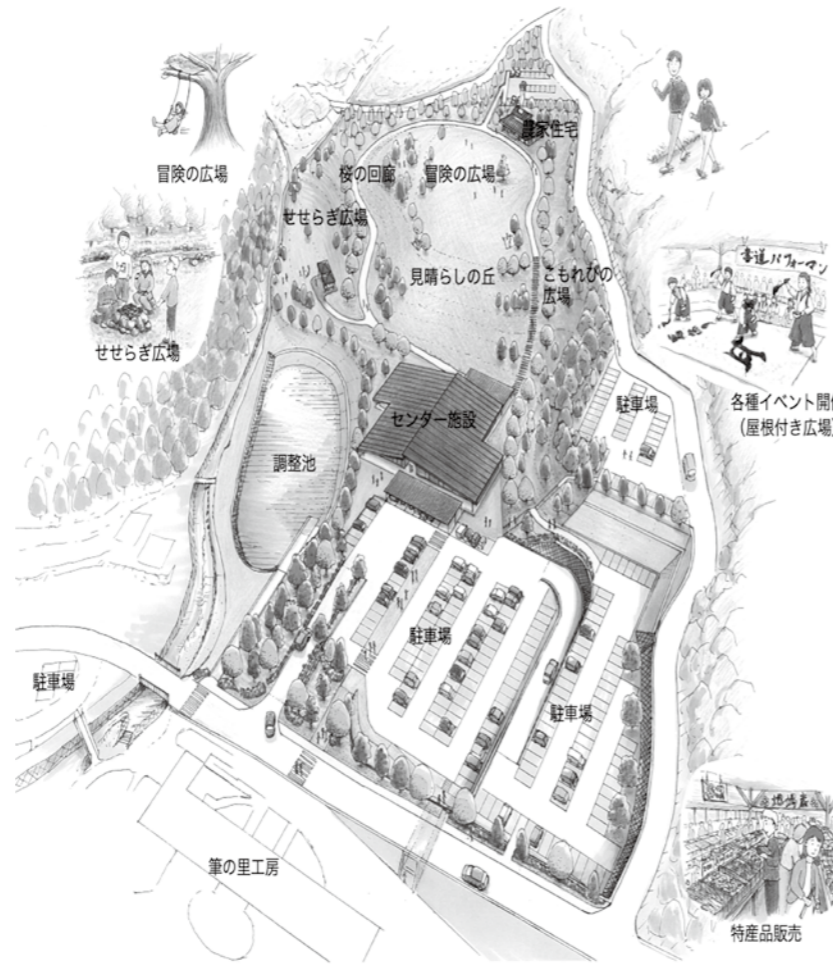
西日本豪雨災害の影響で事業が遅れていますが、令和2年度には実施設計を行い、翌年度着工、令和7年度の一部供用開始を目指して事業を進めています。

現段階での完成予想図は次のとおりです。

《整備施設》

- ・公園
- ・駐車場
- ・トイレ
- ・屋根つき空間
- ・体験交流・研修施設

将来的には、センター施設を利用して、各種イベントの開催や特産品販売等を進めることとしています。



筆の里工房周辺整備事業 整備イメージ

今月の表紙

新型コロナウイルスの影響で、小・中学校が一時臨時休校になりました。そのような中で、今回は第一小学校児童クラブの様子です。

新型コロナウイルスから 身を守ろう！



ハンカチで簡単にマスクを作れるよ

1



半分に折ったハンカチをさらに半分に折る

2



幅3等分の位置にゴムを左右から通す

3



4



両端を3等分の位置で折って完成！

5



色々なハンカチで気分を変えてみては如何でしょうか

6



あ
と
が
き

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、公共施設が休館となり、こども夢プラザでの取材が困難になりました。

マスクの品薄状態も長期にわたり自作のマスクを使用されている方も増えています。

今号では裁縫のできない方でも手軽に作れるハンカチマスクの作り方を紹介させて頂きました。

ウイルスを正しく恐れ、ネットのデマ情報に振り回されることなく冷静に、人に移すことなく人から移されることもないよう気を付けて行動したいと思います。

沖田ゆかり

次の定例会は

6月9日(火曜日)

開会を予定しています。

議会だより題字

小田原正龍さん

表紙写真

第一小学校児童クラブ



「くまの議会だより」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。